

愛知県に対する要望

当所が加盟する愛知県商工会議所連合会では県内22商工会議所の要望を取りまとめ、中小・小規模企業支援の強化、交通インフラの整備などを9月21日、大村秀章県知事に要望しました。当所が要望した事項は下記の通りです。

1. 県営名古屋空港の防災拠点としての早期整備と、空港活性化に向けた支援について

県営名古屋空港は、コンピューター機・ビジネス機の中部地区拠点空港として機能を有するとともに、国内観光において東海地区尾張地域の玄関口としての機能の一端も担うなど国内観光やビジネスで重要な役割を果たしています。

また、震災等災害時に中部国際空港が打撃を受けた際の代替機能も求められています。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の拡大により、繰り返される緊急事態宣言の発出等で県営名古屋空港を利用する航空会社は減便を余儀なくされ、過去に経験の無い経済ダメージを受けています。

昨年度は国内の観光需要を増やすため、国においてもGo To トラベルキャンペーンなどが実施されましたが、コロナ禍の中、キャンペーンは中断状態となっています。

愛知県が整備を進めておられます2022年度秋開業予定のジブリパークへの来場者を迎え入れる拠点の一つとしての役割、防災拠点としての空港の早期整備、本来機能の回復時に向けた空港利用者の利便性向上など、Withコロナ、Afterコロナを見据えて以下を要望いたします。

(1)震災等災害時に沿岸部にある中部国際空港が被災した際の代替機能の向上と、中部圏基幹的広域防災拠点の早期整備に合わせた緊急搬送時のための周辺道路整備

(2)需要が見込まれる北海道丘珠便など新たな就航路線の積極的な拡大



(3)既存就航先においてニーズが高い就航路線の増便

(4)空港利用者の利便性向上のため、空港内施設の整備(待合室・レストラン・案内表示等)

2. 名古屋高速11号小牧線小牧北出口の渋滞緩和策について

国道41号線の片側3車線化工事が段階的に整備される中、東名・名神高速道路の小牧インターチェンジ周辺的大幅な渋滞は解消されたものの、依然として名古屋高速11号小牧線の北向き最終出口である小牧北出口では慢性的渋滞が発生しております。

この渋滞を解消することは、沿線の企業活動に寄与すると想定されますので、名古屋高速道路を更に北へ延伸し、新たな出入口の設置を要望いたします。

